

令和2年度 第1回新潟県後期高齢者医療懇談会 次第

日時：令和2年8月7日（金）
午後1時15分～

場所：自治会館本館2階201会議室

1 開会

2 あいさつ

3 委員の紹介

4 懇談事項

- | | |
|---|-----|
| (1) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく
保健事業について | 資料1 |
| (2) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の見直しについて | 資料2 |
| (3) 新型コロナウイルス感染症に関する各種施策の実施等について | 資料3 |

5 その他

6 閉会

【配付資料】

- | | | |
|------------|---|-------------------------------|
| 資料 1 | : | 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）令和元年度実績 |
| 資料 2 | : | 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の見直しについて |
| 資料 1, 2 関連 | : | 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）（冊子） |
| 資料 3 | : | 新型コロナウイルス感染症に関する各種施策の実施等について |

第2期

保健事業実施計画

(データヘルス計画)

目標に向けた事業計画 目標管理・評価シート

平成30(2018)年度実績
令和元(2019)年度実績

令和2(2020)年8月現在

～ 目 次 ～

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

1. 健康診査事業	1
2. 糖尿病性腎症・CKD（慢性腎臓病）重症化予防事業	3
3. 生活習慣病要治療者受診勧奨事業	5
4. 歯科健康診査事業	7
5. 在宅要介護者歯科保健事業	9
6. 在宅訪問栄養食事相談事業	11
7. 健康づくり高齢者補助金交付事業(長寿・健康増進事業)	13
8. 重複・頻回受診者訪問相談事業	15
9. 服薬相談事業	19
10. ジェネリック医薬品普及・啓発事業	23

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	1-(1)
事業名	健康診査事業
区分	継続
大目標	1 生活習慣病の重症化予防
中長期的目標	①人工透析患者の増加抑制 ②脳血管疾患の増加抑制 ③重症化する被保険者の増加抑制
短期的目標	#1 糖尿病・高血圧・CKD未治療者の減少 #2 自ら健康づくりに取り組む高齢者の増加
目的	生活習慣病の発見と重症化予防
対象者	除外者を除いた全被保険者
事業内容	後期高齢者に対する健康診査の実施
実施体制	広域連合が主体となり、市町村に業務委託

【目 標】

項目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	市町村との連携体制の構築	・健康診査推進計画の策定 ・医療・健康診査等の分析結果の提供
プロセス	円滑な健康診査の実施	・個別での市町村との意見交換の実施
アウトプット	受診率の前年度比増加	・健康診査受診率
アウトカム	受診勧奨判定値該当で医療に結びついた割合 90.0%	・健診結果が次の該当する人で、健診受診月の翌月以降に生活習慣病に関する治療レセプトがある人の割合(以下省略)

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016) 現状	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020) 見直し	R03(2021)	R04(2022)	R05(2025)
ストラクチャー	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		実施	実施				
プロセス	計 画	2 市町村	5 市町村	5 市町村	5 市町村	5 市町村	5 市町村	5 市町村
	実 績		あり	あり				
アウトプット	計 画	23.8%	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加
	実 績		25.5%	27.0%				
アウトカム	計 画	86.3%	87.0%	87.6%	88.2%	88.8%	89.4%	90.0%
	実 績		87.6%	(未集計)				

事業実績	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
対象被保険者数	341,983 人	341,750 人				
健診受診者数	87,371 人	92,436 人				
受診率	25.5%	27.0%				
受診勧奨判定値該当者	18,296 人	(未集計)				
医療に結びついた人数	16,030 人	(未集計)				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	・健康診査推進計画を策定し、KDBシステム等により分析結果を提供
プロセス	3	・必要により電話で市町村と個別かつ密に連絡 ・契約時や健診推進計画作成時に、調査票で意見を聴取 ・市町村訪問実績なし
アウトプット	4	・25.5% (前年度比0.3%増)
アウトカム	4	・87.6%

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	・健康診査推進計画を策定し、KDBシステム等により分析結果を提供
プロセス	3	・必要により電話で市町村と個別かつ密に連絡 ・契約時や健診推進計画作成時に、調査票で意見を聴取 ・市町村訪問実績なし
アウトプット	4	・27.0% (前年度比1.5%増)
アウトカム		・(未集計)

【特記事項】

・受診勧奨判定値該当者：健診結果が次に該当する人。

【血圧】収縮期 160mmHg 以上または拡張期 100mmHg 以上

【中性脂肪】400mg/dl 以上または LDL160 以上または HDL30 未満

【血糖】140mg/dl 以上または HbA1c7.0 以上

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	1-(2)
事業名	糖尿病性腎症・CKD（慢性腎臓病）重症化予防事業
区分	拡充
大目標	1 生活習慣病の重症化予防
中長期的目標	①人工透析患者の増加抑制 ③重症化する被保険者の増加抑制
短期的目標	#1 糖尿病・高血圧・CKD未治療者の減少
目的	糖尿病性腎症・CKDの重症化予防
対象者	糖尿病性腎症・CKDの患者であって、人工透析導入前の被保険者
事業内容	医療機関への受診勧奨や専門職による訪問相談
実施体制	市町村との連携を強化し、医師会・新潟県糖尿病対策推進会議の支援を受けながら、地域に応じた効果的な実施体制を検討

【目 標】

項目	目標	評価指標
ストラクチャー	関係機関との連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村との結果共有の体制作り ・医師会との連携 ・新潟県糖尿病対策推進会議との連携
プロセス	事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗
アウトプット	事業実施市町村数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・CKD進展予防のための判定基準及びフローチャートに基づいた保健指導もしくは健診結果等を活用した糖尿病性腎症等の重症化予防の実施市町村数
アウトカム	相談実施者の病期進行の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・相談実施者の翌年度の健康診査結果により病期進行が抑制された割合

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2025)
		現状			見直し			
ストラクチャー	計画	—	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実績		取組内容調査	取組状況調査				
プロセス	計画	—	未実施市町村の事業実施方法の検討・支援	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施
	実績		効果的な取組の検討	効果的な取組の検討				
アウトプット	計画	16 市町村	20 市町村	22 市町村	24 市町村	26 市町村	28 市町村	30 市町村
	実績		19 市町村	20 市町村				
アウトカム	計画	—	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
	実績		結果共有・評価方法の検討	結果共有・評価方法の検討				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	・市町村の取り組み内容の調査を実施
プロセス	3	・後期高齢者への効果的な取組を検討
アウトプット	3	・事業実施市町村数 H30:19 H29:19
アウトカム	2	・取組内容と合わせて、結果共有と評価の方法を検討

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	・市町村の取り組み状況の調査を実施
プロセス	3	・後期高齢者への効果的な取組を検討
アウトプット	2	・事業実施市町村数 R元:20 H30:19
アウトカム	2	・取組内容と合わせて、結果共有と評価の方法を検討

【特記事項】

--

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	1 - (3)
事業名	生活習慣病要治療者受診勧奨事業
区分	新規
大目標	1 生活習慣病の重症化予防
中長期的目標	③重症化する被保険者の増加抑制
短期的目標	#1 糖尿病・高血圧・CKD未治療者の減少
目的	生活習慣病の重症化予防
対象者	健康診査受診者で結果が受診勧奨レベルに該当し、その後医療機関未受診の被保険者
事業内容	医療機関への受診勧奨
実施体制	広域連合が主体となって、市町村や医師会の支援のもと、事業を実施

【目 標】

項目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	関係機関との連携体制の構築	・市町村との連携体制構築 ・医師会との連携
プロセス	事業の推進	・事業の進捗
アウトプット	受診勧奨実施者の医療機関受診率 50.0%	・受診勧奨実施者で、受診勧奨の翌月以降に生活習慣病に関する治療レセプトがある人の割合
アウトカム	受診勧奨実施者で医療機関受診者の翌年の健診結果数値の改善率 70.0%	・受診勧奨実施者で、受診勧奨の翌月以降に生活習慣病に関する治療レセプトがある人のうち、翌年度の健康診査結果で数値が改善した割合

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2025)
		現状			見直し			
ストラクチャー	計 画	—	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		取組内容の調査	取組内容の調査				
プロセス	計 画	—	対象者や介入方法の決定	モデル事業の実施	前年度の評価を踏まえた実施	継続実施	継続実施	継続実施
	実 績		効果的な対象者・事業方法の検討	一体的な実施事業への移行の検討				
アウトプット	計 画	—	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実 績		—	—				
アウトカム	計 画	—	—	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
	実 績		—	—				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	2	市町村の健診結果を活用した取組内容の調査を実施
プロセス	2	効果的な対象者及び事業方法を検討
アウトプット		—
アウトカム		—

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	2	市町村の健診結果を活用した取組内容の調査を実施
プロセス	2	一体的な事業への移行の検討
アウトプット		—
アウトカム		—

【特記事項】

・R2年度以降、「保健事業と介護予防の一体的な実施」が本格実施になることを踏まえ、市町村における国保世代からの連続した、後期高齢者に対する重症化予防の取組の推進を支援。

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	2 - (1)
事業名	歯科健康診査事業
区 分	継続
大目標	2 加齢に伴う心身機能の低下防止
中長期的目標	①生活に支障のない期間の維持
短期的目標	#3 口腔機能の維持・改善者の増加
目 的	口腔機能低下や肺炎等の疾病の予防と心身機能の低下防止
対象者	実施年度に76歳、80歳に達する被保険者（除外者を除く）
事業内容	歯科健康診査の実施
実施体制	広域連合が主体となり、市町村に業務委託

【目 標】

項 目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	市町村との連携体制の構築	・ 歯科健康診査推進計画の策定 ・ 医療の分析結果の提供
プロセス	円滑な歯科健康診査の実施	・ 未実施市町村への歯科健康診査実施のための支援
アウトプット	歯科健康診査実施市町村数の増加	・ 歯科健康診査実施市町村数
アウトカム	要治療で医療に結びついた割合 90.0%	・ 歯科健診結果が要治療で、歯科健診受診月の翌月以降に歯科レセプトがある人の割合

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
		現状			見直し			
ストラクチャー	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		健診計画策定	健診計画策定				
プロセス	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		未実施市町村の課題調査	未実施市町村の課題調査				
アウトプット	計 画	13 市町村	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加
	実 績		15 市町村	18 市町村				
アウトカム	計 画	93.6%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
	実 績		96.5%	95.4%				

事業実績	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
対象被保険者数	23,169 人	36,213 人				
健診受診者数	3,379 人	4,721 人				
受診率	14.6%	13.0%				
要治療者数	2,395 人	3,305 人				
要治療で医療に結びついた人数	2,311 人	3,152 人				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	健康診査推進計画を策定し、歯科健診受診後に医療に結びついた割合を分析
プロセス	3	未実施市町村の課題の聞き取りを実施
アウトプット	3	実施市町村数 H30:15 H29:13
アウトカム	4	要治療で医療に結びついた割合 96.5%

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	健康診査推進計画を策定し、歯科健診受診後に医療に結びついた割合を分析
プロセス	3	未実施市町村の課題の聞き取りを実施
アウトプット	4	実施市町村数 R1:18 H30:15
アウトカム	4	要治療で医療に結びついた割合 95.4%

【特記事項】

--

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	2 - (2)
事業名	在宅要介護者歯科保健事業
区 分	継続
大目標	2 加齢に伴う心身機能の低下防止
中長期的目標	①生活に支障のない期間の維持
短期的目標	#3 口腔機能の維持・改善者の増加
目 的	口腔機能の維持回復と健康維持
対象者	通院による歯科保健サービスを受けることが困難な、新潟市に住所を有する要介護3～5の認定を受けた者
事業内容	訪問歯科健診と口腔ケア指導、健康教育
実施体制	新潟市歯科医師会に業務委託

【目 標】

項 目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	新潟市歯科医師会との連携体制強化	・新潟市歯科医師会との打ち合わせ会議
プロセス	円滑な訪問歯科健康診査の実施	・効果的な対象者の選定 ・居宅介護支援事業所への事業周知
アウトプット	訪問歯科健診実施者数の増加	・訪問歯科健診実施者数
アウトカム	要治療で医療に結びついた割合 80.0%	・訪問歯科健診結果が要治療で、訪問歯科健診受診月の翌月以降に歯科レセプトがある人の割合

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
		現状			見直し			
ストラクチャー	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		打ち合わせ会議 実施・事業周知 方法等検討	打ち合わせ会議 実施・事業周知 方法等検討				
プロセス	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		広報チラシ配布	広報チラシ配布				
アウトプット	計 画	79 人	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加
	実 績		101 人	113 人				
アウトカム	計 画	77.2%	77.5%	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%
	実 績		80.0%	82.4%				

事業実績	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
健診受診者数	101人	113人				
要治療者数	50人	74人				
要治療で医療に結びついた人数	40人	61人				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	打ち合わせ会議を実施し、効果的な事業周知方法等を検討
プロセス	3	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局の協力により、会員事業所向けの研修会にて広報チラシを配布
アウトプット	4	健診受診者数 H30:101人 H29:67人
アウトカム	3	医療に結びついた割合 H30:80.0% H29:77.8%

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	打ち合わせ会議を実施し、効果的な事業周知方法等を検討
プロセス	3	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局の協力により、会員事業所向けの研修会にて広報チラシを配布
アウトプット	4	健診受診者数 R1:113人 H30:101人
アウトカム	4	医療に結びついた割合 R1:82.4% H30:80.0%

【特記事項】

--

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	2 - (3)
事業名	在宅訪問栄養食事相談事業
区 分	継続
大目標	2 加齢に伴う心身機能の低下防止
中長期的目標	①生活に支障のない期間の維持
短期的目標	#2 自ら健康づくりに取り組む高齢者の増加 #4 栄養改善・維持を図れる者の増加
目 的	栄養改善と心身機能の低下予防、生活機能の維持・改善
対象者	前年度の健診結果でBMIが21.5kg/m ² 未満かつ半年以内に2kg以上体重が減少している者
事業内容	訪問栄養相談の実施と管理栄養士の育成研修
実施体制	広域連合が主体となり、新潟県栄養士会に業務委託、実施地域市町村と共同事業協定

【目 標】

項 目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	関係機関との連携体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県栄養士会との打ち合わせ会議 実施市町村との共同事業に関する協定の締結 かかりつけ医や地域包括支援センター等との情報共有・協力等の連携体制の構築
プロセス	管理栄養士の育成	在宅訪問栄養食事相談事業での訪問相談が実施可能な栄養士の数
アウトプット	訪問相談実施者の心身機能の維持・向上 50.0%	相談実施者のBMI値が維持・改善した割合
アウトカム	訪問相談実施者の生活改善率 80.0%	相談実施者の日常生活チェック項目が改善した割合

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
		現状			見直し			
ストラクチャー	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		共同事業協定 ・情報共有	共同事業協定 ・情報共有				
プロセス	計 画	16 人	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加
	実 績		22 人	24 人				
アウトプット	計 画	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実 績		81.0%	82.1%				
アウトカム	計 画	—	70.0%	75.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	実 績		65.5%	89.7%				

事業実績	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
申請勸奨者（対象者）	702 人	725 人				
訪問相談実施者	65 人	48 人				
3 回訪問完了者	58 人	39 人				
BMI 維持・改善者	47 人	32 人				
生活改善者	38 人	35 人				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	実施地域である新潟市と共同事業の協定を締結、新潟県栄養士会及び新潟市医師会等と情報共有
プロセス	3	研修会1回実施。訪問可能栄養士数 H30：22人 H29：16人
アウトプット	4	BMI維持・改善者 81.0%
アウトカム	2	アセスメント表による改善率 65.5%

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	実施地域である新潟市と共同事業の協定を締結、新潟県栄養士会及び新潟市医師会等と情報共有
プロセス	3	訪問可能栄養士数 R元：24人 H30：22人 研修会はコロナの影響で中止
アウトプット	4	BMI維持・改善者 82.1%
アウトカム	4	アセスメント表による改善率 89.7%

【特記事項】

- ・第2期データヘルス計画記載の短期目標に誤りがあったので修正。
- ・アウトプット評価に記載の目標及び評価指標が、本来のアウトプット評価の意味に適さない為、データヘルス計画見直しに合わせて修正予定（令和元年度保健事業支援・評価委員会でも確認済み）。

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	2 - (4)
事業名	健康づくり高齢者補助金交付事業（長寿・健康増進事業）
区 分	継続
大目標	2 加齢に伴う心身機能の低下防止（1 生活習慣病の重症化予防）
中長期的目標	①生活に支障のない期間の維持（①人工透析②脳血管疾患③重症化の増加抑制）
短期的目標	#1 糖尿病・高血圧・CKD未治療者の減少 #2 自ら健康づくりに取り組む高齢者の増加 #3 口腔機能の維持・改善者の増加 #4 栄養改善・維持を図れる者の増加
目 的	被保険者の健康増進に向けた市町村の行う健康づくり事業等に対する補助
対象者	新潟県後期高齢者医療広域連合特別対策補助金で定める長寿・健康増進事業の対象者
事業内容	補助金の交付
実施体制	広域連合策定「特別対策補助金交付要綱」に基づき市町村事業に補助金を交付

【目 標】

項 目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	事業実施に必要な財源確保	・ 予算の確保
プロセス	円滑な事業の実施	・ 各種会議での周知
アウトプット	実施市町村数の維持・増加	・ 補助金交付市町村数
アウトカム	被保険者の健康増進に資する事業の推進	・ 補助金交付市町村数

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
		現状			見直し			
ストラクチャー	計 画	実施						
	実 績		財源確保	財源確保				
プロセス	計 画	実施						
	実 績		会議等で周知	会議等で周知				
アウトプット	計 画	28 市町村	28 市町村	29 市町村	30 市町村	30 市町村	30 市町村	30 市町村
	実 績		29 市町村	30 市町村				
アウトカム	計 画	28 市町村	28 市町村	29 市町村	30 市町村	30 市町村	30 市町村	30 市町村
	実 績		29 市町村	30 市町村				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	市町村からの申請を踏まえ、必要な財源を確保
プロセス	3	担当課長会議及び保健事業担当者連絡会議、文書にて周知
アウトプット	3	補助金交付市町村数 29市町村
アウトカム	3	補助金交付市町村数 29市町村

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	市町村からの申請を踏まえ、必要な財源を確保
プロセス	3	担当課長会議及び保健事業担当者連絡会議、文書にて周知
アウトプット	3	補助金交付市町村数 30市町村
アウトカム	3	補助金交付市町村数 30市町村

【特記事項】

--

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	3 - (1)
事業名	重複・頻回受診者訪問相談事業
区分	拡充
大目標	3 必要な受診・その他サービスの利活用による医療費の適正化
中長期的目標	①重複受診割合の増加抑制 ②頻回受診割合の増加抑制
短期的目標	#5 適切な受診行動・服薬行動がとれる者の増加
目的	自己負担額の軽減や医療費の適正化
対象者	重複受診者（3か月連続して、1か月に同一疾病での受診医療機関が2箇所以上の者） 頻回受診者（3か月連続して、1か月に同一医療機関での受診が12回以上の者。ただし、人工透析患者は対象外）
事業内容	専門職（保健師・看護師等）による訪問健康相談と適正な受診やかかりつけ医・薬局に関する啓発
実施体制	民間業者に業務委託

【目 標】

項目	目標	評価指標
ストラクチャー	関係機関との連携体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村との訪問相談結果共有等による連携体制の強化 ・新潟県医師会との事業実施状況等の共有による連携体制の強化
プロセス	適正な受診やかかりつけ医を持つことに関する意識啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報媒体による意識啓発の実施
	効果的な対象者の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者全体に対する訪問相談実施者の割合
アウトプット	相談実施者の受診行動改善率 50.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談実施者で、訪問相談実施月の翌月から3ヶ月間のレセプトにより、対象者に該当しなくなった者の割合
アウトカム	相談実施者の行動変容による医療費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談実施者で、訪問相談実施月の翌月から3ヶ月間のレセプトにより、対象者に該当しなくなった者の1人当たりの1ヶ月平均の医療費削減額

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実績】

項目		H28(2016) 現状	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020) 見直し	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
ストラクチャー	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実績		相談結果を 市町村と共有	相談結果を 市町村と共有				
プロセス	計画	意識啓発	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実績	—	広報実施	広報実施				
	計画	対象選定	20.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
	実績	11.2%	31.6%	24.7%				
アウトプット	計画	重複	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実績	55.8%	70.8%	61.2%				
	計画	頻回	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実績	49.6%	47.6%	51.0%				
アウトカム	計画	重複 9,952 円	医療費 の削減	医療費 の削減	医療費 の削減	医療費 の削減	医療費 の削減	医療費 の削減
	実績	頻回 14,709 円	削減	削減				

事業実績	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
対象者の当初抽出者数	3,144 人	3,320 人				
最終対象者数 (除外、電話調査後)	538 人	604 人				
訪問相談実施者数	重複 65 人 頻回 105 人	重 49 人 頻 100 人				
訪問相談実施後の改善者数	重複 46 人 頻回 50 人	重 30 人 頻 51 人				

【平成30年度実績の評価】

5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	相談実施者から同意をとり、相談結果を市町村と共有し、引き続き見守りを行う体制を構築
プロセス	4	ガイドブック、しおり等による機会を捉えた広報を実施、実施者の割合 31.6%
アウトプット	重複 4 頻回 2	訪問指導の改善割合 重複受診者：70.8%、頻回受診者：47.6%
アウトカム	重複 4 頻回 3	改善者の1人当たりの1ヶ月当たりの医療費削減額 重複受診者：19,775円、頻回受診者：11,996円

【令和元年度実績の評価】

5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	相談実施者から同意をとり、相談結果を市町村と共有し、引き続き見守りを行う体制を構築
プロセス	2	ガイドブック、しおり等による機会を捉えた広報を実施、実施者の割合 24.7%
アウトプット	重複 4	訪問指導の改善割合
	頻回 3	重複受診者：61.2%、頻回受診者：51.0%
アウトカム	重複 4	改善者の1人当たりの1ヶ月当たりの医療費削減額
	頻回 4	重複受診者：15,403円、頻回受診者：19,727円

【特記事項】

--

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	3 - (2)
事業名	服薬相談事業
区 分	拡充
大目標	3 必要な受診・その他サービスの利活用による医療費の適正化
中長期的目標	③服薬相談が必要な被保険者割合の増加抑制
短期的目標	#5 適切な受診行動・服薬行動がとれる者の増加
目 的	自己負担額の軽減や医療費の適正化
対象者	重複投薬や併用禁忌薬剤処方状況が疑われ、服薬に関する確認や相談、調整が必要な状況が疑われる者
事業内容	薬剤師による薬に関する相談の実施と適正な受診やかかりつけ医・かかりつけ薬局を持つことに関する啓発
実施体制	広域連合が主体となって、関係機関との協議により、効果的な実施体制を検討

【目 標】

項 目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	関係機関との連携体制構築	・市町村や医師会、薬剤師会等との連携体制の構築
プロセス	効果的な事業の推進	・前年度の評価を踏まえた事業の実施
アウトプット	相談実施者の受診行動改善率 50.0%	・相談実施者で、相談実施月の翌月から3ヶ月間のレセプトにより、対象者に該当しなくなった者の割合
アウトカム	相談実施者の行動変容による医療費の削減	・相談実施者で、相談実施月の翌月から3ヶ月間のレセプトにより、対象者に該当しなくなった者の1人当たりの1ヶ月平均の医療費削減額

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程（手順）や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実績】

項目		H28(2016) 現状	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020) 見直し	R03(2021)	R04(2022)	R05(2025)
ストラクチャー	計画	—	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実績		新潟市、薬剤師会等との連携体制構築	新潟市、薬剤師会等との連携体制構築				
プロセス	計画	—	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施	前年度の評価を踏まえた実施
	実績		前年度課題により実施方法修正	前年度課題により実施方法修正				
アウトプット	計画	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実績		62.5%	55.1%				
アウトカム	計画	—	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減
	実績		削減	削減				

事業実績	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
申請勸奨者（対象者）	715人	949人				
訪問相談申込者	49人	75人				
訪問相談実施者	32人	49人				
抽出基準に該当しなくなった者	20人	27人				

【平成30年度実績の評価】

5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	新潟市、新潟市薬剤師会、かかりつけ薬局との連携体制を構築
プロセス	3	前年度課題を踏まえて、対象者抽出方法や実施時期等の修正
アウトプット	4	新潟市をモデル地区に、50人を目途に訪問相談を実施 H30:32人 【H30実績】
アウトカム	3	・基準に該当しなくなった人の割合 62.5% ・該当しなくなった者の1人当たり1ヶ月当たりの医科（投薬のみ）・調剤医療費削減効果 3,287円

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	新潟市、新潟市薬剤師会、かかりつけ薬局との連携体制を構築
プロセス	3	前年度課題を踏まえて、対象者抽出方法や実施時期等の修正
アウトプット	3	新潟市をモデル地区に、50人を目途に訪問相談を実施 R1：49人 【R1実績】
アウトカム	3	・基準に該当しなくなった人の割合 55.1% ・該当しなくなった者の1人当たり1ヶ月当たりの医科（投薬のみ）・調剤医療費削減効果 5,784円

【特記事項】

--

第2期データヘルス計画保健事業 目標管理・評価シート

【基本事項】

事業番号	3 - (3)
事業名	ジェネリック医薬品普及・啓発事業
区 分	継続
大目標	3 必要な受診・その他サービスの利活用による医療費の適正化
中長期的目標	④ジェネリック医薬品の普及率向上
短期的目標	#6 ジェネリック医薬品の普及率向上
目 的	自己負担額の軽減や医療費の適正化
対象者	切替可能な先発医薬品を使用している者 (切替えた場合に、自己負担額が100円以上軽減される可能性がある者)
事業内容	広報紙等による啓発、ジェネリック医薬品希望カードの配布、ジェネリック医薬品差額通知発送、他保険者との情報共有や共同実施等による効果的な啓発の実施
実施体制	広域連合が主体となり、市町村と協力して実施

【目 標】

項 目	目 標	評 価 指 標
ストラクチャー	他保険者との連携体制の構築	・保険者協議会等での各保険者でのジェネリック医薬品に関する協議回数
プロセス	取組の推進	・各種事業の実施
アウトプット	ジェネリック医薬品の普及率 (数量ベース) 80.0%以上	・ジェネリック医薬品の普及率
アウトカム	ジェネリック医薬品差額通知による切替者の医療費の削減	・ジェネリック医薬品差額通知の発送による1年間の切替効果額(合計)

ストラクチャー：保健事業を実施するための仕組みや体制 プロセス：事業の目的や目標達成に向けた過程(手順)や活動状況

アウトプット：目的・目標達成のために行われる事業の結果 アウトカム：事業の目的や目標の達成度、または成果

【実 績】

項目		H28(2016) 現状	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020) 見直し	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)
ストラクチャー	計 画	1 回	2 回	前年度の協議内容を踏まえた必要な回数	前年度の協議内容を踏まえた必要な回数	前年度の協議内容を踏まえた必要な回数	前年度の協議内容を踏まえた必要な回数	前年度の協議内容を踏まえた必要な回数
	実 績		2 回	2 回				
プロセス	計 画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実 績		実施	実施				
アウトプット	計 画	65.2%	74.0%	77.0%	80.0%	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加
	実 績		74.9%	78.4%				
アウトカム	計 画	3,852 万円	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減	医療費の削減
	実 績		削減	削減				

【平成30年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

項目	評価	説明
ストラクチャー	3	H30：2回 保険者協議会等にて効果的な啓発方法を検討
プロセス	3	市町村広報誌等による広報とともに、ジェネリック医薬品希望カードの配布や差額通知事業（年2回）を実施
アウトプット	3	普及率：74.9%（H31.3審査分）
アウトカム	3	H30.10：58,350通発送 11ヶ月間で1億9,270万円の削減効果 H31.02：54,089通発送 7ヶ月間で8,420万円の削減効果 ※発送者には重複している者もいるため、上記削減額には二重で金額が計上されている者も含む

【令和元年度実績の評価】 5:大きく上回る達成 4:上回る達成 3:おおむね達成 2:下回る未達成 1:大きく下回る未達成

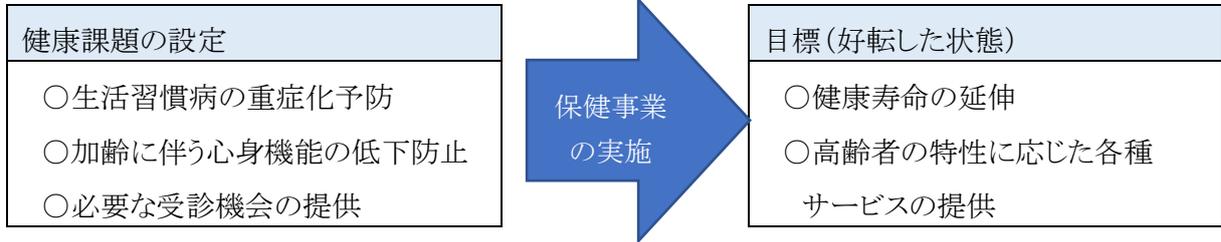
項目	評価	説明
ストラクチャー	3	R元：2回 保険者協議会等にて効果的な啓発方法を検討
プロセス	3	市町村広報誌等による広報とともに、ジェネリック医薬品希望カードの配布や差額通知事業（年2回）を実施
アウトプット	3	普及率：78.4%（R2.3審査分）
アウトカム	3	（暫定値） R元.9：48,191通発送 8ヶ月間で9,210万円の削減効果 R2.1：47,888通発送 4ヶ月間で3,644万円の削減効果 ※発送者には重複している者もいるため、上記削減額には二重で金額が計上されている者も含む

【特記事項】

第2期データヘルス計画記載のアウトカム評価 H28 の切替効果額は、1年間の合計ではなく発送1年後の単月の金額を誤って記載していた。

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の見直しについて

1 計画の基本的な考え



2 計画の期間

平成30年度～令和5年度(6年間)

(令和2年度は計画全体の評価・検証を行い、必要に応じて見直しを行います。)

データヘルス計画	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
第1期計画	計画期間:3か年								
第2期計画				計画期間:6か年					
						見直し			

3 計画の評価

保健事業ごとの評価(毎年度末)	・保健事業ごとに定めた「オ 目標」「カ 事業計画」に沿って、「ストラクチャー」「プロセス」「アウトプット」「アウトカム」ごとに評価を行うとともに、その結果を公表します。
短期的な評価(毎年度末)	・保健事業の評価を踏まえて、第2期データヘルス計画の体系図に定めた「短期的な目標」に沿って評価を行うとともに、その結果を公表します。
中間評価(令和2年度末)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間の3年度目に、保健事業の実施状況や成果・課題、短期的な評価などを踏まえて中間評価を行い、その結果を公表します。 ・中間評価の結果を踏まえて、必要に応じて計画期間後半(令和3年度から5年度)における事業内容の見直しや重点化、新たな課題への対応などを行います。
中長期的な評価(令和5年度末)	・保健事業の評価及び短期的な評価を踏まえて、第2期データヘルス計画の体系図に定めた「中長期的な目標」に沿って評価を行うとともに、その結果を公表します。
最終評価(令和5年度末)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間の6年度目に、保健事業の実施状況や成果・課題、短期的な評価、中長期的な評価などを踏まえて最終評価を行い、その結果を公表します。 ・最終評価の結果を踏まえて、第3期計画(令和6年度から)の策定を行います。

4 主な見直しの内容

(1) 評価指標（アウトプット、アウトカム）の再設定

(例) 在宅訪問栄養食相談事業

	評価指標	
	見直し前	見直し後
アウト プット	相談実施者の BMI 値が維持・改善した割合	1) 訪問相談勧奨対象者に対する申請率(申請者数/案内送付件数) 2) 訪問相談実施率(相談実施数/申請者数) 3) 訪問3回終了率(訪問3回終了数/相談実施数) 4) フォローアップ相談実施率(相談実施数/案内送付数)
アウト カム	相談実施者の日常生活チェック項目が改善した割合	1) 相談実施者の BMI 値が維持・改善した割合(相談1回目と3回目の BMI 値を比較) 2) 相談実施者の日常生活チェック項目が改善した割合

【参考】保健事業の評価の視点

区分	説明
ストラクチャー (実施体制)	保健事業を実施するための仕組みや体制 ⇒実施体制は整っているか
プロセス (実施過程)	事業の目的や目標達成に向けた家庭(手順)や活動状況 ⇒うまく運営できているか
アウトプット (事業実施量)	目的・目標の達成のために行われる事業の結果 ⇒ちゃんと実施できたか
アウトカム (成果)	事業の目的や目標の達成度、または成果 ⇒結果は出ているか

(2) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施に関する事項を追加

【目的】フレイル状態など高齢者の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、委託を受けた市町村がハイリスク・ポピュレーションアプローチの両面からフレイル予防等に取り組む。

【対象者】全ての被保険者

【目標】

	評価項目	評価指標	目標
ストラクチャー	市町村との連携体制の構築	市町村との意見交換	市町村訪問や保健事業担当者連絡会議の実施
プロセス	円滑な事業の実施	事業への積極的なデータ活用等の周知・啓発	未実施の市町村への支援

アウトプット	実施市町村の増加	実施市町村数	30市町村
アウトカム	フレイル予防に取り組む事業数の増加	フレイル予防等に取り組む事業数	1) 低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防に取り組む事業数の増加 2) 重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導に取り組む事業数の増加 3) 健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続に取り組む事業数の増加 4) フレイル予防の普及・啓発、運動・栄養・口腔等の健康教育・健康相談等に取り組む事業数の増加

(3) (2) に伴う事業の見直し

生活習慣病要治療者受診勧奨事業

エ 実施体制

見直し前	見直し後
広域連合が主体となって実施	「一体的実施」において生活習慣病等の重症化予防の取り組みも対象となることから、「一体的実施」の枠組みの中で、地域の実情に応じた市町村の取り組みを支援

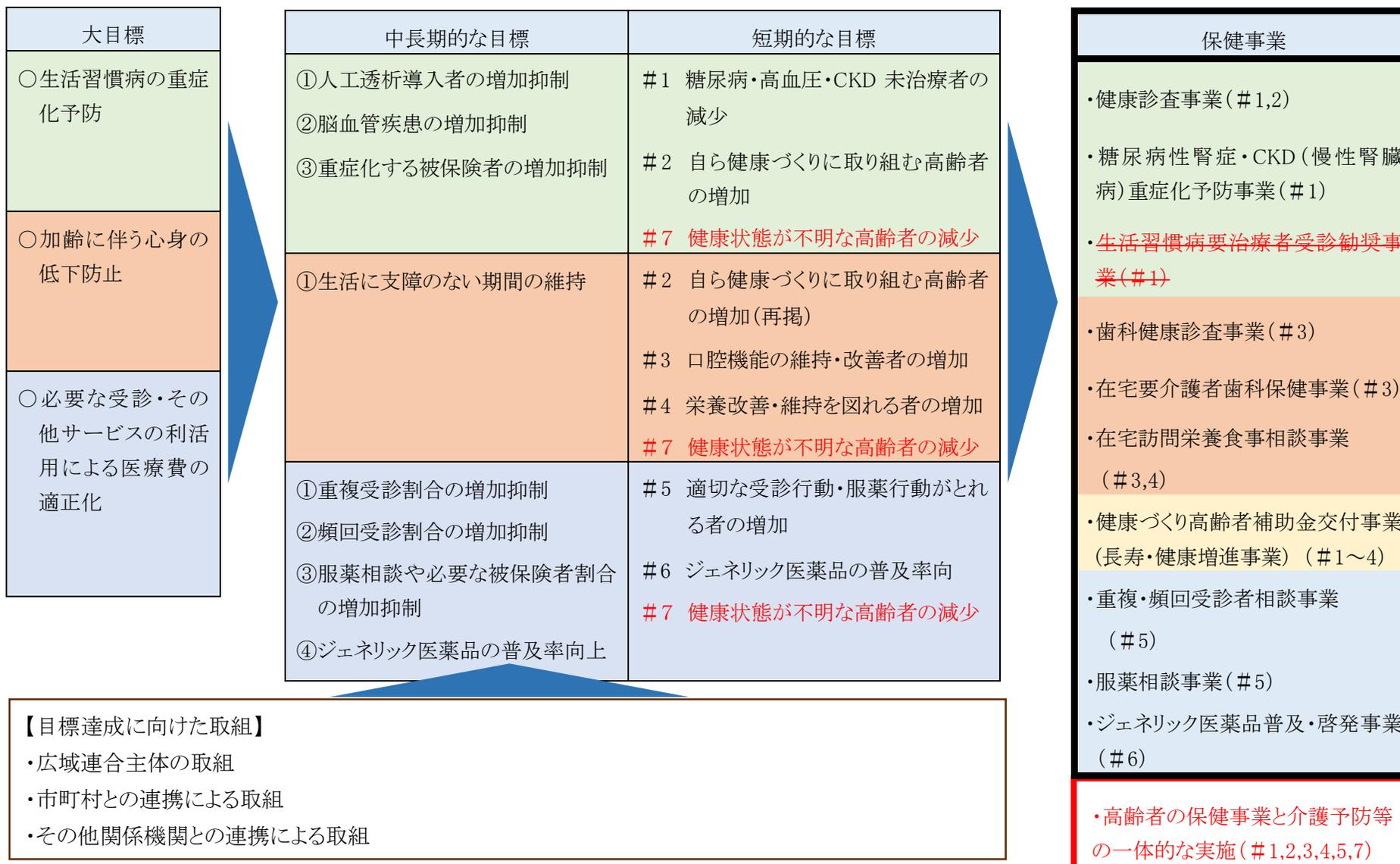
5 スケジュール

時期	内容
～10月	実績の中間評価
10月頃	保健事業支援・評価委員会からの助言
～11月	上記を踏まえた見直し案作成
11月	医療懇談会(意見聴取)
11月	市町村へ意見照会
12月	パブリックコメント実施
1月	市町村担当課長会議(修正案提示)
2月	医療懇談会(最終案提示)

【第2期データヘルス計画体系図】

○目標（好転した状態）

- ・健康寿命の延伸
- ・高齢者の特性に応じた各種サービスの提供

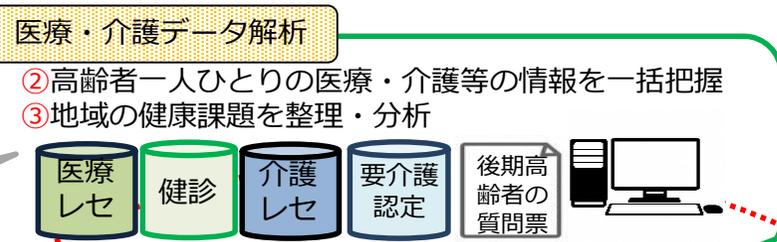


高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（市町村における実施のイメージ図）

市町村が一体的に実施

④多様な課題を抱える高齢者や、閉じこもりがちで健康状態の不明な高齢者を把握し、アウトリーチ支援等を通じて、必要な医療サービスに接続。

国保中央会・国保連が、分析マニュアル作成・市町村職員への研修等を実施



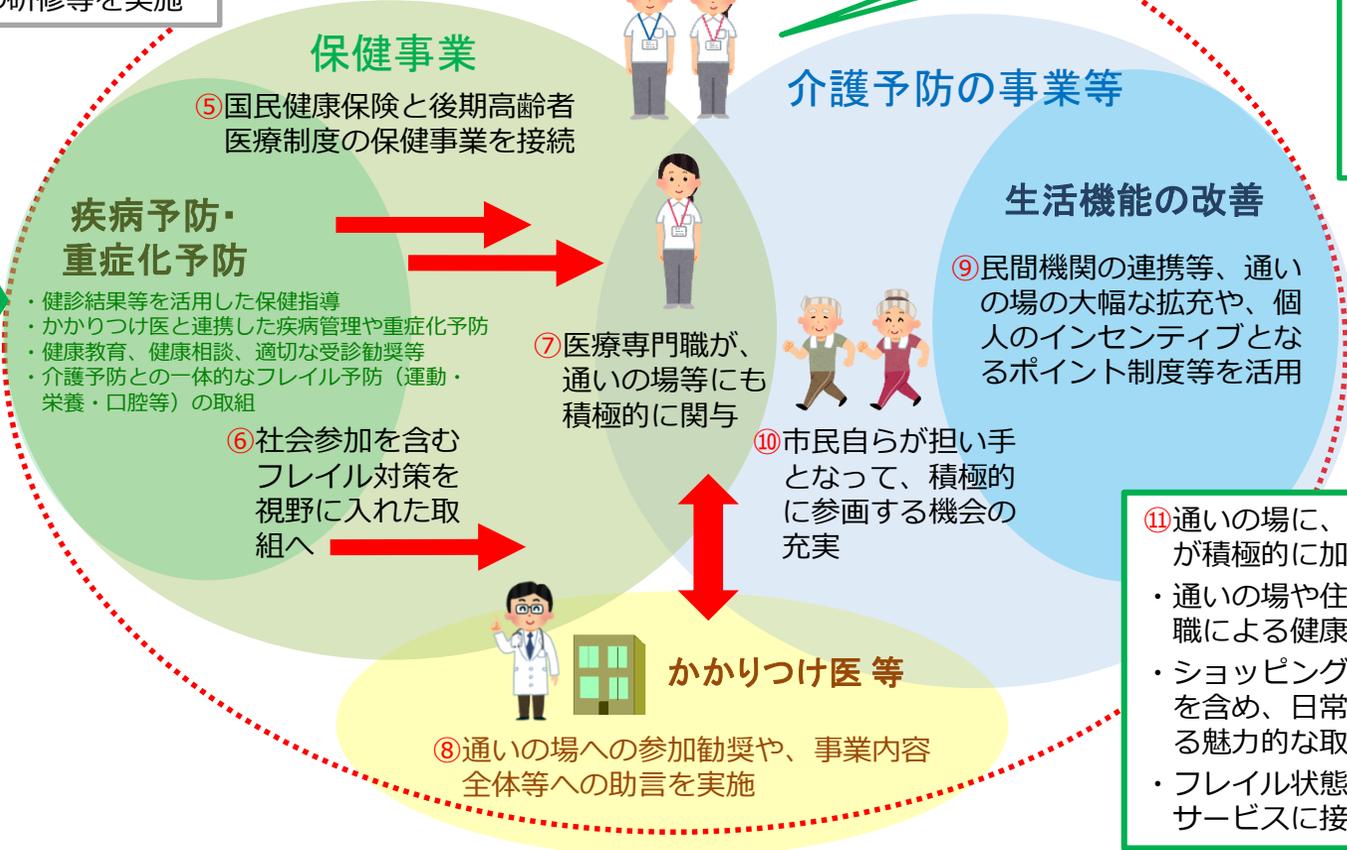
①市町村は次の医療専門職を配置

- ・事業全体のコーディネーターや企画調整・分析を行うため、市町村に保健師等を配置
- ・高齢者に対する個別的支援や通いの場等への関与等を行うため、日常生活圏域に保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等を配置

経費は広域連合が交付（保険料財源+特別調整交付金）

- 企画・調整・分析等を行う医療専門職の配置
- 日常生活圏域に医療専門職の配置等に要する費用（委託事業費）

高齢者
※フレイルのおそれのある高齢者全体を支援



⑪通いの場に、保健医療の視点からの支援が積極的に加わることで、

- ・通いの場や住民主体の支援の場で、専門職による健康相談等を受けられる。
- ・ショッピングセンターなどの生活拠点等を含め、日常的に健康づくりを意識できる魅力的な取組に参加できる。
- ・フレイル状態にある者等を、適切に医療サービスに接続。

新型コロナウイルス感染症に関する各種施策の実施等について

1 傷病手当金の支給について

(1) 制度概要

感染した被用者等に対し、労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から、就労予定日数分の給与（直近3か月平均）の2/3に相当する額を支給

(2) 適用期間

令和2年1月1日から令和2年9月30日まで（終了日は広域連合規則に規定）の間で療養のため労務に服することができない期間（入院継続の場合等は最長1年6月まで）

(3) 制度実施までの対応

令和2年4月30日、広域連合条例改正、同日公布・施行。（規則改正、様式規程改正も同日施行。）以降、各市町村より当該制度の受付事務を追加する条例改正と受付体制の整備を行った。

(4) 申請の実績 なし（令和2年7月30日現在）

2 保険料の減免について

(1) 制度概要

感染症の影響により世帯の主たる生計維持者の死亡又は重篤な傷病並びに大幅な収入減少が見込まれる世帯の被保険者の保険料を減免

(2) 対象となる保険料

令和元（平成31）年度分及び令和2年度分の保険料のうち、納期限が令和2年2月1日から令和3年3月31日までに到来するもの

(3) 制度実施までの対応

令和2年5月29日、広域連合条例改正（令和2年2月1日に遡及適用）、同日公布・施行。（同日に要綱を制定・施行。）以降、各市町村より受付体制の整備を行った。

(4) 申請の実績 33件（令和2年7月30日現在）

3 参考（新型コロナウイルス感染症の医療費への影響について）

新型コロナウイルス感染拡大により、全国的に入院・外来患者数が減少しており、多くの医療機関等で収益の減少が問題となっている。下表は、後期高齢者医療の療養給付費の直近4か月の数値をまとめたもので、その他の要因による増減もありうるが、感染症の影響について、おおよそ傾向を把握することができるものとする。

【療養給付費全体】

診療月	給付額		件数		1件当たり給付額		被保険者1人当たり	
	(円)	前年比(%)	(件)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	給付額(円)	前年比(%)
(参考)R1年度	248,169,106,865	+2.02	10,695,648	+1.36	23,203	+0.65	661,014	+1.12
R2.2月	19,521,823,405	+1.87	834,666	+0.23	23,389	+1.63	52,020	+1.47
R2.3月	20,920,639,386	+1.42	878,392	▲2.41	23,817	+3.93	55,705	+1.27
R2.4月	19,778,660,594	▲4.35	845,705	▲7.06	23,387	+2.91	52,674	▲4.29
R2.5月	18,751,258,825	▲8.87	800,539	▲10.16	23,423	+1.43	49,960	▲8.87

【診療費 医科・入院】

診療月	給付額		件数		1件当たり給付額		被保険者1人当たり	
	(円)	前年比(%)	(件)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	給付額(円)	前年比(%)
(参考)R1年度	117,429,629,131	+2.21	244,424	▲0.32	480,434	+2.53	312,781	+1.30
R2.2月	9,575,653,433	+2.88	20,086	▲2.08	476,733	+5.07	25,516	+2.48
R2.3月	9,961,440,190	+2.46	19,998	▲2.60	498,122	+5.18	26,524	+2.30
R2.4月	9,114,938,991	▲2.65	18,815	▲5.41	484,451	+2.92	24,275	▲2.59
R2.5月	9,066,256,113	▲6.99	18,201	▲9.94	498,119	+3.27	24,156	▲6.99

【診療費 医科・入院外】

診療月	給付額		件数		1件当たり給付額		被保険者1人当たり	
	(円)	前年比(%)	(件)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	給付額(円)	前年比(%)
(参考)R1年度	72,114,657,002	+1.17	5,541,418	+0.52	13,014	+1.13	192,082	+0.76
R2.2月	5,485,316,196	+0.80	430,054	▲0.50	12,755	+1.30	14,617	+0.41
R2.3月	5,951,936,922	▲0.75	453,457	▲3.00	13,126	+2.32	15,848	▲0.90
R2.4月	5,714,519,804	▲6.92	437,219	▲7.25	13,070	+0.35	15,219	▲6.87
R2.5月	5,384,164,741	▲10.92	415,689	▲10.04	12,952	▲0.98	14,345	▲10.92

【診療費 歯科】

診療月	給付額		件数		1件当たり給付額		被保険者1人当たり	
	(円)	前年比(%)	(件)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	給付額(円)	前年比(%)
(参考)R1年度	10,496,115,648	+3.09	838,488	+5.67	12,518	▲2.44	27,957	+2.17
R2.2月	811,398,550	+2.87	64,950	+3.46	12,493	▲0.57	2,162	+2.46
R2.3月	852,497,680	▲5.30	66,796	▲6.60	12,763	+1.39	2,270	▲5.46
R2.4月	810,274,734	▲10.31	60,008	▲15.69	13,503	+6.38	2,158	▲10.27
R2.5月	722,722,866	▲15.99	55,619	▲20.52	12,994	+5.70	1,926	▲15.97

【調剤】

診療月	給付額		件数		1件当たり給付額		被保険者1人当たり	
	(円)	前年比(%)	(件)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	給付額(円)	前年比(%)
(参考)R1年度	48,128,705,084	+1.89	4,071,318	+1.75	11,821	+0.14	128,194	+0.98
R2.2月	3,649,455,226	+0.66	319,576	+0.73	11,420	▲0.07	9,725	+0.27
R2.3月	4,154,764,594	+3.68	338,141	▲0.72	12,287	+4.44	11,063	+3.53
R2.4月	4,138,927,065	▲3.12	329,663	▲5.11	12,555	+2.10	11,023	▲3.06
R2.5月	3,578,115,105	▲8.83	311,030	▲8.18	11,504	▲0.70	9,533	▲8.83